

# サブミナル効果の影響力を高める方法 -背景動画の構図に着目して-

## 1.要旨

サブミナル効果\*の影響力には**背景動画の構図**が関係しているという仮説を検証した。120fpsの動画を2本作成し、○に近い構図である日の丸構図10枚と、もう一方は×に近い構図であるX構図10枚を表示。両動画に「右を選ぶな」というテキストを表示した。設問は直感で選ぶ問題で、左右の選択とダミーの4問である。結果、両動画において右を選んだ人数が左を選んだ人数を上回り、今回の実験においては有意性の有無の判断ができなかった。背景動画の構図が与える影響を検証する前に、**サブミナル効果そのものの存在の是非**について議論する必要がある。

\*認識できないほど短時間または低刺激の視覚及び聴覚、触覚刺激を与えることで、受け手が刺激を認識せずとも無意識に影響を受ける効果。

## 2.仮説

サブミナル効果の影響力には背景動画の構図が関係しており、否定を強めるためには×に近い構図であるX構図が効果的である。

## 3.研究手法

「右を選ぶな」のテキストを1フレーム表示した120fpsの映像を2本作成。一方は丸に近い**日の丸構図**の写真・絵画10枚で、もう一方は×に近い**X構図**の写真・絵画10枚で構成されている。この動画を見せた後、直感で左右を選ばせる問と、その他ダミーとして直感で選ぶ二択問題を4問の計5問をformsにて回答させた。被験者は各動画に男50人女50人で、本校1・2年生を対象とした。

結果はExcelの**CHITEST関数**を用いて算出した。日の丸構図とX構図それぞれで左右を選んだ人数を対応させ、カイ二乗検定にてP値を求めた。



## 4.結果

どちらの動画でも右を選んだ人数が57人・左を選んだ人数が43人となり、**構図の違いによる結果の差異は見られなかった**。表示したメッセージとは逆に**右を選んだ人数の方が多かった**。以上の2点より、今回の実験では**サブミナル効果は十分に働かなかった**と判断することができる。

P値：カイ二乗検定により、その事象が偶然に起こる確率を示した値。

この値が低いほどその事象が偶然には起こりづらく、外部影響を受けた可能性が高いことを示す。

各構図における左右の選択人数			
	日の丸	X	P 値
左	43	43	1
右	57	57	

## 5.考察

前述のとおり、今回の実験ではサブミナル効果は十分に働かなかったと判断できる。

どちらの動画においても右を選んだ人数が多かった要因として、今回表示したテキストが「右を選ぶな」であり、文章形式であったのと文字数が長かったため、わずかな表示時間ではその内容すべてを認知できず、単純に「**右**」という文字のみを認識してしまった可能性がある。また、今回表示したメッセージはテキストサイズが小さく、表示したのも中央のみだったので、ちょうど瞬きをしていたり動画の端の方を見ていたりといった要因でそもそも**視界に文字が入っていなかった**可能性がある。そして、**サブミナル効果そのものが本当に有意な影響力をもつことができるのか**という疑問も残っている。

## 6.展望

考察において最大の疑問点である、**サブミナル効果が真に存在するのか**という問いを検証するのが今後の第一優先事項である。この検証をする際は今回の反省点となったテキスト表示形式の問題も解消し、外的要因を考慮せず判断ができるようにする。また、これだけでは研究に新規性がないので、今回構図に着目したように、**背景動画の要素のうち1つに焦点を当てて**、サブミナル効果の影響力に関与するかを検証したい。

## 7.参考文献

- ・飲料選択における閾値プライミング効果の影響 ―喉の渇き具合に着目して― \*1
- ・サブミナル感情プライミング効果の規定要因に関する研究 \*2



## 8.謝辞

数々のご助言・ご支援をくださった本校情報科の打田孝一先生、ならびに研究に協力していただいたすべての日比谷生にこの場をお借りして深く御礼申し上げます。